

# 「推理小説による法学理解」II

## —家族法，家族関係的利用を中心として—

### Understanding of Law through Detective Stories Part II

(1998年3月31日受理)

沢 津 久 司  
Hisashi Sawazu

Key words: 和久峻三, 推理小説, 法学理解

筆者は前号(中国短期大学紀要第28号)で和久峻三作品の意義について、①法学的知識が得られること(詳細は第28号参照)、②ストーリーがおもしろいこと、③現実に起こりうる事件であり、少しは注意をするようになること、④法律以前の人間の生き方・生命の尊さ・愛のあり方などについても考えさせられること、⑤登場人物がユニークで親しみを持てること、⑥法律や裁判のことに関心を持つようになること、⑦各地の風景や風俗が巧みに描かれており、旅行気分になれること、⑧政治や経済のことについても関心を持つようになることを指摘した<sup>1)</sup>。

今号では、①恋愛・結婚・夫婦・親子・離婚・相続・遺言・生命保険など家族法知識の習得に対応して、②人間の生き方・生命の尊さ・愛のあり方なども含む家族関係の事項に対応しての利用法を試みることにした<sup>2)</sup>。①②とも「法学」「家族関係」の授業で触れるところではあるが、学生には具体的な事例を盛り込んだ推理小説スタイルの和久作品が、家族法知識、家族関係的思考をより深めるために有益な教材となっている。さらに刑事事件等に発展した作品の場合には、警察・検察庁における捜査・取り調べ、刑事裁判等の知識も含まれる。今回考察の対象としたのは、『赤かぶ検事シリーズ』を除く他の全作品である。下記のように家族法知識、家族関係的項目として、1. 恋愛から17. 生命保険まで設定し、和久作品をそれぞれ該当する項目に位置付けし、簡単な概要をつけることにした。『赤かぶ検事シリーズ』作品は一括して後日考察することとする。

## 1. 恋 愛

\*は長編、( )内は短編又は中編を収めた本のタイトル名  
ラブコミック、ラブコメディの盛んな今日であるが、ハッピーエンドばかりではなく一方ではストーリー、恋愛のもつれによる殺人事件なども日常的に起こっており、自分なりの恋愛観を持って

注意して生きていくことが必要である。和久作品は下記のように、人間の生き方・生命の尊さ・愛のあり方を考えさせられる一方、事件・事故に巻き込まれ法律・裁判の絡んだ展開となるなど家族法、刑事法で利用できる内容となっている。

- ①『殺人者の愛しい唇』\*・不幸な境遇の下、辛い体験を経てきた少女と恋に陥る大学生…
  - ②『赤い情事の日記』（『濡れ手に粟』）・親の反対を押切り家出したが、妊娠し捨てられ殺される女性…
  - ③『亡命機101便応答せよ』\*（＝『逃亡空路』）・日本・ヨーロッパを舞台に、愛する女性のために命をかけて活躍する日本人男性を描いた国際スパイ小説
  - ④『パリ遺言特急』\*・日本・ヨーロッパを舞台に、日本人弁護士と外国資産家令嬢との悲恋を盛り込んだ遺産相続事件
- 上記の他、⑤『眠らない目撃者』\*、⑥『真夜中のめぐり逢い』（『惨殺の金曜日』）、⑦『悪人のごとく葬れ』（『悪人のごとく葬れ』）、⑧『拘摸男ニ正義アリ』（『拘摸男ニ正義アリ』）、⑨『夕顔の女』（『復讐の時間割』）、⑩『裁く女』（『あなたの夜と引きかえに』）がある。

## 2. 婚約・結婚

家族法の立場からは、派手な挙式・披露宴・新婚旅行よりも婚姻届の提出が大切であると強調しているが、その他婚約解消、結婚詐欺、婚姻意思の合致、婚姻適齢、重婚の禁止、近親結婚の禁止、再婚期限、未成年者の婚姻、婚姻取消、婚姻無効さらには国際結婚といった問題もある。和久作品では下記のようにこれらを巧みに盛り込んでいる。

- ①『女の絵心』・過失によって婚約者の男性を死亡させたため、両親から巨額の損害賠償を請求される女性…
  - ②『夜を待つ溜め息』（『屋根裏の闖入者』）・結婚詐欺にあい200万円をだましとられた男性…
  - ③『血と罪の法廷』\*・アメリカ人との結婚と人種差別。アメリカの刑事裁判制度の紹介あり
- 上記の他、④『異教徒の鎖』（『悪人図鑑』）、⑤『死者への審判』（『死者への審判』）、⑥『魚鱗荘の惨劇』（『魚鱗荘の惨劇』）、⑦『たそがれの殺意』（『ロシアンルーレットの女』）、⑧『重婚』（『逃げる死体』）がある。

## 3. 夫 婦

夫婦間には、同居・協力・扶助義務があり、夫婦・親子ともに円満な家庭生活を送ることが望ましいが、現実には夫婦の不和・暴力・ギャンブル・浮気・アルコール中毒・失業などに起因する事件・事故が毎日のように報道されている。和久作品は種々の夫婦像を描いており、将来の生活設計の上でも参考となる。

- ①『猟銃魔』（『呼吸する死者』）・永年の夫の暴力・虐待・浮気等に耐えてきた妻がついに夫を

猟銃で殺害する…

- ②『死を招く倒産』（『我が子を盗め』）・会社倒産の危機時に妻から離婚話を持ち出された社長…
- ③『あなたの前では素敵な女』（『あなたの前では素敵な女』）・妻が働いて生活を支え、夫は資格取得の受験勉強に専念するが…
- ④『偽証法廷』\*・夫婦間の不和・不倫が原因で、ある事件をめぐる夫婦の証言が正反対となる…

上記の他、⑤『密室法廷』\*、⑥『虻と蜂』（『法律は家庭に入らず』）、⑦『負け犬の凱歌』（『我が子を盗め』）、⑧『還らざる海』（『暗黒山林』）、⑨『共犯者の自白』（『マイナス百九十六度の相続人』）、⑩『残酷な埋葬』（『魔女失格』）、⑪『捕われの男』（『偶然防衛』）がある。

#### 4. 同棲・内縁

家族法、家族関係では、内縁の妻の地位が不安定である、相続権がない、子どもが嫡出子になれない、姻族関係が生じないことなど指摘し、婚姻届の重要性を教える。しかし、婚姻届にはこだわらない人も現実には存在している。和久作品でも内縁の不利な点を指摘しつつ、婚姻届を出していない人たちの心理や事件を次のように描いている。

- ①『女心と秋の空』（『背の青い魚』）・自分のマンションなのに同棲中の男に追い出されたスナックママのマンション奪回事件
  - ②『ぜいたく病』（『偶然防衛』）・同棲中のクラブママとバーテンの傷害事件
  - ③『100日の殺意』（『妻の前科』）・半身不随の老人に100日間食事もろくに与えず、医者にも診せず自殺に追い込んだ愛人。保護責任者遺棄罪含む
- 上記の他、④『残酷な愛の証し』（『裁かれる判事』）がある。

#### 5. 出生・戸籍・住民票・印鑑登録

人の出生以後に出生届・戸籍謄本・戸籍抄本・住民票・印鑑登録・印鑑証明といった書類が派生してくるが、その他未婚の母の出産、認知の請求、体外受精、国際結婚の子どもの国籍取得など種々の知識が必要となってくる。この分野の和久作品は、代理母・体外受精のように時代の先端を扱った作品から、住民登録を盗用し、住民票・戸籍謄本を勝手に悪用できる作品など、それぞれ特徴があるので個別に紹介する。

- ①『飢えた魂』（『円空の鉦』）・子どもを出産・死亡させたのに妊娠・出産の事実を認めない女性…
- ②『代理母消失』（『魚鱗荘の惨劇』）・子どものいない夫婦が代理母契約し、のち代理母と子ども

もをめぐって争いとなる…

- ③『マイナス百九十六度の相続人』・飛行機事故で死亡した資産家夫婦はアメリカで体外受精を行い、借り腹の女性が妊娠していた。女性は出産後、夫婦の子として相続権を主張する…
- ④『まぼろしの証人』（『私を殺したのは誰？』）・美術店から弥勒菩薩像を盗んだ女性。国籍取得含む
- ⑤『逃亡弁護士』\*・誤って人を殺したため逃走し、他人の戸籍・氏名を買って他人になりすましている弁護士。恋愛、離婚、交通事故の損害賠償、借家の期限等も含む
- ⑥『盗まれた一族』（『盗まれた一族』）・住民登録を盗用し、住民票・戸籍謄本を勝手に他人が悪用…

## 6. 親子・兄弟姉妹

親子間の暴力・虐待・放置・放任による事件・事故、親子・兄弟姉妹の不和等による殺人事件、財産争いなどマスコミで毎日のように報道されている。刑事事件、民事事件とも絡むのであるが、和久作品では、裁判の形を取りながら当事者の心の内面を描いており、学生は共感しつつ、あるいは自分ならどうするかなど考えつつ、法律知識等も自然に習得することができる。

- ①『悪女のベッド』（『呪殺人形』）・妻子ある男性の子を生んだとして女性が子どもの認知請求をする…
  - ②『破綻裁判』（『証拠崩し』）・5歳の長女を道連れに親子心中を図った母親…
  - ③『幼児引渡し請求事件』（『犯人の画かなかった絵』）・夫婦の離婚と幼児の引き取りをめぐる争い
  - ④『賑やかな悲しみ』（『賑やかな悲しみ』）・夫婦の離婚と親子関係不存在確認の訴
  - ⑤『許された殺意』\*・交通事故の後遺症で精神不安定になり妻に暴力を振るう夫を義父が殺害する
  - ⑥『尊属殺人事件』（『魔女失格』）・永年の義父の虐待・凌辱に耐えかねた息子の嫁が義父を殺害する…
  - ⑦『【ロス発】第一級殺人の女』\*・会社が倒産し、夫は蒸発。ロサンゼルスに残された生活苦の妻は幼い子どもを道連れに心中を図る。日本とアメリカでは子ども殺しに対する考えが異なり、妻はガス室送りの裁判にかけられる…。異文化、異制度の学べる作品
- 上記の他、⑧『女の算段』（『悪魔の汚点』）、⑨『妻の秘密』（『賑やかな悲しみ』）、⑩『黄昏どきにベルが鳴る』（『証拠崩し』）、⑪『魔淫の罌』（『我が子を盗め』）、⑫『我が子を盗め』（『空白の判決書』）、⑬『罪深い女』（『悪い奴ほど女は狂う』）、⑭『殺意のない殺人者』（『妻の前科』）、⑮『断罪』\*、⑯『許された殺意』\*、⑰『闇からの一撃』\*がある。

## 7. 養 子

「親のいない子どもに暖かい家庭の味を」というのが養子制度の考えであるが、「家のため」、「親のため」も混在している。さらに、自分の親族でなく愛人に財産を与えるために、愛人を養女にするというからくりも和久作品で判明する。

- ①『誤判』\*・Sexを強要するなど冷酷非道な養父を殺したとして無期懲役で服役中の女性が再審を請求する…。再審制度も説明。
- ②『逃亡弁護士・変身編』\*・財産目当ての養子縁組み取消訴訟  
上記の他、③『首のない女』（『死者への審判』）がある。

## 8. 異常な性

ときどきマスコミで異常なSexに基づく事件・事故が報道されている。それが裁判となったとき被告人に有利にか、不利にか、どう判断されるのか知りたいところである。和久作品では、下記のようにこの疑問に答えてくれる。

- ①『異常性欲者』（『犯人の画かなかった絵』）・異常Sex中の夫の死。妻は殺人罪か、傷害致死罪か？
- ②『慟哭の未亡人』（『有罪の二つの顔』）・高名な医学部教授が妻とのSMプレー中に首をしめられ死亡。妻は傷害致死の容疑で起訴される…  
上記の他、③『髑髏を抱いて寝る男』（『背中から撃たれるな』）、④『危険な自白』（『詐欺破産』）がある。

## 9. 不 倫

夫婦間には、貞操の義務があり、夫婦円満な家庭生活を送ることが望ましいが、現実には夫婦の不倫にもとづく事件・事故が毎日のように報道されている。不倫にもとづく離婚・慰謝料・自殺・殺人・失業・子どもの認知などその衝撃は大きい。和久作品のケースを紹介する。

- ①『歪んだ火輪』（『背中から撃たれるな』）・昔愛人関係にあった男性との関係を復活させた女性…
- ②『人形の爪』（『裁かれる判事』）・脳卒中でリハビリ中の老人と付添い者の不倫…
- ③『浮気指南』（『私を殺したのは誰？』）・人妻と浮気し、夫に500万円慰謝料請求された男…
- ④『人買い』（『悪魔の汚点』）・1回3万円でSexに応じ、妊娠・出産したOLに男の妻が慰謝料請求…
- ⑤『浮気の価値』（『血ぬられた相続人』）・妻の浮気相手に対する夫からの慰謝料請求と借金相殺

- ⑥『妻が敵にまわるとき』（『妻が敵にまわるとき』）・離婚話で不仲の夫が妻の証言により殺人罪に…
  - ⑦『逆転法廷』（『暗黒山林』）・妻が愛人の男性と共謀して凶暴な夫を殺害する…
  - ⑧『葡萄色の血の女』\*・女子中学生の家庭教師が母親と不倫に陥る…
  - ⑨『残忍な天使』（『魔女失格』）・再婚の女性が夫とのSexシーンを隠し撮りされ、脅されて先妻の子と関係を持つ…
  - ⑩『裁かれる判事』（『裁かれる判事』）・ただ一度の不倫で職を失い、退職金ももらえなくなり、家族を抱えて路頭に迷う男性…
  - ⑪『裁判長のたくらみ』\*・裁判官とホステスの浮気が殺人事件の原因となる…
  - ⑫『復讐法廷』\*・不倫相手の女性から子どもの認知を迫られたり、家族を殺されそうになる男性の犯罪
  - ⑬『時の楔』（『死刑台の女』）・妻に内緒で愛人を作り、子どもまで生ませていた夫…
  - ⑭『蛇の棲む女』（『惨殺の金曜日』）・愛人が部下の男性と結婚することになり、仲人を頼まれ困惑する課長
  - ⑮『鸚哥は知っていた』（『魔女失格』）・大学教授と女性秘書の仲を疑い、妻が毎日研究室に通う…
- 上記の他、⑯『不倫のつけ』（『魚鱗荘の惨劇』）、⑰『淫獣の寺』（『魔女失格』）がある。

## 10. 売 春

ロリコン、テレクラ、ツーショットダイアル、援助交際など世相を反映した事件・事故が連日のように報道されている。「人の生き方」にかかわる問題でもあるが、取り締まる法令としては刑法、売春防止法、児童福祉法、青少年保護育成条例などがあり、和久作品でも判りやすく扱っている。

- ①『売春容疑』（『騙すつもりじゃなかったのに』）・児童福祉法によると18歳未満の女子に売春させると10年以下の懲役または50万円以下の罰金になる。また売春のために18歳未満の女子を紹介すると児童福祉法違反になる…
- ②『枕捜し』（『許された殺意』）・ホテルラウンジで出会った女と3万円の約束で部屋に行く。シャワーの間に財布から金が抜き取られ、女が消えていた…。売春と恋愛の違いも説明
- ③『殺人者が目覚める朝』\*・女子高校生の売春グループのカラクリと交通事故死

## 11. 性 犯 罪

性犯罪については、誘拐・殺人などをとまうこともあるが、加害者は男性で被害者は女性がほとんどである。日常生活での不用意な男女交際、住居の安全性、深夜までの外出、安全グッズ等に留意する必要がある。和久作品では、淫行の罪、強制猥褻罪、準強姦罪、強姦罪などを扱いつつ、

被害者が未成年者の場合の告訴やさらに慰謝料・示談金といった民法関連も書き込まれている。

- ①『法廷結婚』（『あなたの夜と引きかえに』）・男子高校生に淫行したとして26歳の女性が逮捕される…
  - ②『逃げる死体』（『逃げる死体』）・幼児への強制猥褻
  - ③『美人検事に別れのキスを』（『掏摸男の危険な恋』）・掏摸に後をつけられた女性が痴漢だと騒ぎ、男は強制猥褻罪で逮捕されるはめになる…
  - ④『嘘の壁』（『死者への審判』）・18歳の女性の準強姦事件。母親が告訴し示談金1000万円要求する…
  - ⑤『ペテン師の花束』（『死者が下した死刑宣告』）・警察医と名乗って女性に近づきホテルに連れ込んで暴行する手口の男。準強姦罪
  - ⑥『春笑う』（『悪人図鑑』）・映画の帰りに声をかけられホテルで霊感治療を受けた女性。準強姦事件
  - ⑦『妖精の指輪』（『あなたの夜と引きかえに』）・男性家庭教師と女子中学生のSexは強姦罪になる…
  - ⑧『妖女の芽ばえ』\*・男性高校教師が教え子と恋愛し、肉体関係を持ったため、強姦罪で告訴され、多額の慰謝料を要求され、家庭も崩壊する…
  - ⑨『四十五分間の壁』（『犯人の画がなかった絵』）・人妻が夫の出張中に知人の男性に強姦されそうになる。男は人妻に誘惑されたと主張する…
  - ⑩『強姦容疑』（『騙すつもりじゃなかったのに』）・婚約者のいる女子大生が強姦され、犯人として婚約者の同僚の男性を名指しする…
  - ⑪『蒼ざめた証人』（『蒼ざめた証人』）・女性を助けようとして痴漢とけんかになり、逮捕された男性…
  - ⑫『小指の証し』（『賑やかな悲しみ』）・新婚の妻が押し入った強盗を文化包丁で刺したため実刑に…
  - ⑬『レイプ犯人の聖書』（『大文字五山殺しの送り火』）・女性に無理に口淫させたのは強姦罪か、強制猥褻罪か？
  - ⑭『魔女失格』（『魔女失格』）・強姦罪告訴の取り下げと慰謝料
- 上記の他、⑮『犯人の画がなかった絵』（『犯人の画がなかった絵』）、⑯『古井戸の怪』（『悪い奴ほど女は狂う』）、⑰『私を殺したのは誰？』（『私を殺したのは誰？』）、⑱『レイプ・ザ・トライアル』（『あなたの夜と引きかえに』）、⑲『教唆する弁護士』（『ラスベガスから来た脅迫者』）、⑳『冷血』（『詐欺破産』）、㉑『壁の中に潜む男』（『裁かれる判事』）がある。

## 12. 誘 拐

幼児、女性を誘拐し、身代金要求・猥褻行為・殺人などの事件も相変わらず報道されている。

金目的、いたずら目的、怨恨など動機はさまざまであるが、日常生活で性犯罪を避けるのと同じように注意して過ごすことが必要である。和久作品では誘拐された女性からの正当防衛も扱いつつ次の作品がある。

- ①『罪のおののき』（『ラスベガスから来た脅迫者』）・赤ちゃんを乳母車に乗せて買い物中、別の赤ちゃんにすり替えられる…
- ②『沈黙の裁き』\*・3歳の子どもが誘拐され身代金1000万円が要求される…
- ③『誘拐』（『許された殺意』）・小学2年の男の子が誘拐され殺されたのは、子どもを預かっていた従姉に責任があると、子どもの親が4800万円の損害賠償を求める…
- ④『裏切りの朝』\*・ホテルのロビーで人まちがいで誘拐され、拷問される若い女性…
- ⑤『死体の指にダイヤ』\*・若い女性の殺人事件が次々おこる中、娘を誘拐された父親の怒りと焦り。麻薬、性的不能、正当防衛含む
- ⑥『自白』\*・病院長の一人娘の女子大生が誘拐され、身代金5000万円が要求される。その後犯人として捕まり自白した男子大学生は裁判では犯行を否認する…
- ⑦『白朮火に消えた女』（『悪人のごとく葬れ』）・大晦日、京都八坂神社のおけら参りに婚約者と一緒に出かけた女性が誘拐され、500万円の身代金要求がされる…
- ⑧『新宿25時の戦慄』\*・出勤途中の女性ニュースキャスターが中学生と一緒に誘拐される…。地上げ屋の手口と土地明け渡し裁判含む

### 13. 行方不明・失踪宣告

夫婦間の同居協力扶助義務に違反するものとして、一方の行方不明・蒸発がある。3年以上生死不明の状態が続けば裁判上離婚できること、7年以上で失踪宣告が得られることを踏まえて、行方不明者が帰宅したとき困惑する事態が生じることを和久作品では描いている。

- ①『失踪宣告』\*・夫の蒸発により苦勞した妻が失踪宣告を得て別の男性と再婚し幸福な生活を始める。そこへ前夫が現われ幸福な生活が乱され始める…
- ②『失踪宣告』（『裁かれる判事』）・妻が再婚しているところへ前夫が帰ってくる…
- ③『蛇淫の精』\*（＝『離婚願望』）・妻が3年以上生死不明の状態が続けば夫は裁判上離婚できるが…

### 14. 離 婚

学生は、自分や友人の両親の離婚などを通じて実感するしかないが、日本では年々離婚が増えており、妻からの離婚や熟年になってからの離婚が特徴となってきた。離婚の原因は様々で、離婚に伴う悲惨な事件もよく報道される場所である。和久作品では、夫の暴力・マザコン・同居協力義務違反・姑との不和・夫婦の浮気・性的異常・ギャンブルなどの離婚原因や離婚にいたるまでの事

情、複雑な人間関係さらに子どもの親権、慰謝料・財産分与、譲渡所得税など離婚についての項目がすべて盛り込まれている。

- ①『離婚』\*・夫の暴力・マザコン・姑との不和・浮気・性的異常・子どもの親権者の決定と変更・慰謝料・財産分与など離婚についてほぼすべての項目含む
- ②『雨月荘殺人事件』\*・離婚話のもつれから夫が妻を殺す。刑事裁判についての独習書
- ③『あやつり証人』\*・病身の妻のいる上司を好きになった女子社員は夫とは離婚裁判中だった…
- ④『新・逃亡弁護士』\*・警察官である夫の暴力による夫婦の離婚
- ⑤『悪い依頼人』（『背中から撃たれるな』）・夫の性的不能による妻からの離婚と慰謝料請求事件
- ⑥『処刑執行人』（『蛇淫の精』）・妻の不倫による離婚と相手男性への慰謝料請求。日常家事債務含む
- ⑦『骨肉の争い』（『蛇淫の精』）・男を作って家出した妻が夫に慰謝料・財産分与請求してきた…
- ⑧『屋根裏の闖入者』（『殺人者の涙』）・妻の浮気による離婚と財産分与。譲渡所得税等含む
- ⑨『離婚願望』（『=蛇淫の精』）・新婚の夫が妻のSex拒否を理由に離婚を求める。別居中の費用含む
- ⑩『法律は家庭に入らず』（『離婚法廷』）・離婚を申し出た方が3000万円払うという約束をした夫婦…
- ⑪『誤想防衛』（『偶然防衛』）・離婚後別の男性と幸福に暮らしている女性の家に前夫が忍びこみ復縁を迫り、殺人事件が発生する。盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律含む
- ⑫『密室の短剣』（『ロシアソルーレットの女』）・離婚の話し合いのため、夫婦・愛人・弁護士・大学教授が集まっている中で殺人事件が発生。財産分与・慰謝料・生命保険は？
- ⑬『離婚の後遺症』（『魚鱗荘の惨劇』）・夫婦の離婚と子どもの親権者の決定・変更等をめぐる事件
- ⑭『すげ替えられた時間』（『あなたの前では素敵な女』）・慰謝料を払わない元夫への請求と時効の壁
- ⑮『空白の軌跡』（『濡れ手に粟』）・離婚した夫婦の復縁に起因する殺人事件

## 15. 相続・遺言

国民の所得レベルが向上し、金融資産等も増大した一方で、核家族・少子化が進み、今後の遺産相続がスムーズにいくのか、トラブルが増大するのか？相続・遺言については、相続人、相続欠格、相続廃除、法定相続分、遺留分、遺言書の作成・偽造・変造、単純承認、限定承認、相続放棄、親子関係存在の有無、債権債務の存在など法律にかかわる事項が多い。和久作品では、刑事事件あるいは民事事件と絡ませつつこれらの知識、人間の限りない欲望を紹介してくれる。

- ①『時の魔法』（『マイナス百九十六度の相続人』）・家族ぐるみ交通事故にあり、夫が脳死、妻が心臓死、息子は即死。遺産は誰が受け継ぐのか？
- ②『マイナス百九十六度の相続人』（『マイナス百九十六度の相続人』）・飛行機事故で死亡した資産家夫婦はアメリカで体外受精を行い、借り腹の女性が妊娠していた。女性は出産後、夫婦の子として相続権を主張する…（5．出生と重複）
- ③『高利貸変死事件』（『特捜検事M』）・死んだ父親の借金のため家財道具を差し押さえられた女性が高利貸しの愛人となり、妊娠・出産する…
- ④『訴訟詐欺』（『特捜検事M』）・土地成り金の2号さんが別の男性と関係し妊娠するが、成り金の子として財産相続を企む…
- ⑤『ひとりでは死ねない』（『呪殺人形』）・相続人が妻と亡夫の妹の場合相続分は？遺言書偽造含む
- ⑥『南楼門の女』（『大文字五山殺しの送り火』）・70歳を過ぎた大富豪が愛人の女性を養女とし、若い男と結婚させる。財産を狙って大富豪を殺したとして養女が逮捕される…
- ⑦『縛り首の館』\*・資産家の財産を養子2人が受け継ぐが、巨額の借金のあることが判明…
- ⑧『鮫の口』（『有罪の二つの顔』）・高校を卒業し就職したばかりのOLに、家出後死亡した父親の借金1200万円の支払い請求がサラ金業者から届く…
- ⑨『呪殺人形』（『呪殺人形』）・「愛人の娘に全財産を与える」という遺言をめぐる裁判となる…。藁人形、丑の刻参りも出現
- ⑩『妄執の女』（『死者への審判』）・月々手当てを出すとの約束で中年男性の愛人となった女性。さらに「全財産を遺贈する」という遺言書謄本をもらう。遺言書作成方法含む
- ⑪『眠られぬ死者』（『騙すつもりじゃなかったのに』）・身寄りのない老婆が「全財産を社会福祉法人へ寄付する」と公正証書遺言を作成する直前死亡する。財産相続をめぐる裁判となる…
- ⑫『愛の裏道』（『賑やかな悲しみ』）・老女の身の周りの世話の代償として老女の不動産を無償で譲渡するという契約。契約の翌日老女は死亡する…
- ⑬『血ぬられた相続人』（『血ぬられた相続人』）・末期ガン患者が「全財産を付添いの女性に与える」と遺言しそうになり、怒った妻が病室に乗り込む…
- ⑭『悪知恵の輪』（『悪魔の汚点』）・大地主の遺産相続をめぐる、後妻と先妻の子4人の争いとなる。死んだ大地主は後妻に2分の1を遺贈するという遺言書を残していた（昭和55年11月）  
上記の他、⑮『愛よファラウェイ』\*、⑯『大文字五山殺しの送り火』（『大文字五山殺しの送り火』）、⑰『死刑台の女』（『死刑台の女』）、⑱『女相続人』（『背の青い魚』）、⑲『土蜘蛛に飼われた女』（『詐欺破産』）、⑳『撮された死角』\*、㉑『嬢のようなレディ』\*、㉒『異人館の遺言書』（『濡れ手に粟』）、㉓『妖虫の棲む家』（『特捜検事M』）、㉔『ロマノフ王朝の金塊』（『逃げる死体』）がある。

## 16. 死 亡

法的には死亡にともなう相続、遺言、祭祀財産の承継、生命保険・退職金、損害賠償、自殺・病死・他殺の別、死亡届などが考えられる。和久作品では、相続、遺言、生命保険などの項に書き込まれているので、ここでは死亡後の人骨・遺骨の扱いと、事故による損害賠償を扱っている作品を記す。

- ①『髑髏盗人』（＝『騙すつもりじゃなかったのに』）・人骨を盗めば窃盗罪？
- ②『真夜中の埋葬者』（『あなたの前では素敵な女』）・死んだ夫の親族との折り合いが悪く、家を出た妻が夫の遺骨の引き渡しを求め裁判を起こす…
- ③『悪い種子』（『偶然防衛』）・妹の家に預けた2歳の子どもが不注意で風呂で溺死したと、妹夫婦に損害賠償を求めた姉夫婦…

## 17. 生命保険

ロス疑惑殺人事件に代表されるように、夫婦間、親子間、会社と従業員間など生命保険をかけて、事故にみせかけ保険金詐取を狙う事件が横行している。幼児期から加入していたり、あるいは生命保険会社に就職を希望する学生にとっては関心のある項目である。和久作品では、刑事事件等とからめて次のように書き分けている。

- ①『保険金相続人』（『呼吸する死者』）・新婚旅行の初夜に夫が暴走族にひき殺される。9000万円の生命保険金を受け取れるのは妻か、夫の兄弟か？
- ②『3年目の疑惑』（『暗黒山林』）・3年前妻の生命保険金を狙い殺害したとして裁判にかけられた男性と結婚した女性があることを知り不安におびえ出す…
- ③『愛のかげら』（『悪い奴ほど女は狂う』）・海水浴中に先妻の子どもを溺死させた母親。子どもには3000万円の保険がかけてあり、夫とは離婚話中だった…
- ④『悪魔の汚点』（『悪魔の汚点』）・55歳の男性が遠縁の男子大学生を養子にした後、女性と結婚し、離婚する。男性死亡後、受取人妻と書かれた生命保険金は誰のものになるか？
- ⑤『20時18分の死神』（『20時18分の死神』）・両親が飛行機事故で死んだ時間になるとなぜか死にたくなるという息子。生命保険金の詐取を狙う…
- ⑥『悪魔のように憎いあなた』\*・1億2千万円の生命保険に入っている男性と、その保険金を狙う男女の仕組んだ保険金詐欺事件…

家族法、家族関係の利用については以上のようなものであるが、次号では「交通事故」「クレジットカード・ローン」「預貯金」「手形・小切手」などの利用について考察したい。（以下次号）

注

- 1) 沢津久司「推理小説による法学理解」Ⅰ（中国短期大学紀要第28号）1997年6月
- 2) 吉田杉明 飯野 財『人間一生の法律ごよみ』（自由国民社、1992年）を参考とした